

事業報告書（概要）

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

西鉄学園は日本の経済成長が始まった昭和37年に、来るべき自動車社会を支えていく人材を育成することを目的に学校法人西鉄自動車学校を設立し、運転の教習を行う教習部門と自動車の構造・整備を教育する整備部門の2部門を備えた学校として誕生しました。その後経済の成熟化に伴う人々の生活水準の向上による、旅行や観光に関わるサービスの高度化が求められる時代の到来に対応し、当学園は平成4年に法人名を学校法人西鉄学園に改め、時代の要請に応える新たな学校として平成6年に国際ビジネスカレッジを開校し3校を擁する現在の姿になりました。

自動車学校は運転免許取得のための教習のほか地域の交通安全に寄与する活動を行い、2校の専門学校は、2級自動車整備士養成ならびに観光業界等に寄与する専門士（商業実務専門課程）養成を行っております。

(2) 学校法人の沿革

昭和37年 2月	学校法人西鉄自動車学校設置認可
昭和37年 4月	西鉄自動車学校および自動車整備科（3級整備士養成指定校）開校
昭和37年 11月	指定自動車教習所として指定（大型自動車）を受ける 以降 指定教習車種を追加
昭和39年 3月	第一種自動車整備士養成施設指定校として認可を受ける
昭和52年 5月	自動車整備士養成施設（第一種）の変更 3級自動車整備士養成課程を2級自動車整備士養成課程へ
昭和52年 12月	私立専修学校西鉄自動車整備専門学校設置認可
昭和53年 4月	西鉄自動車整備専門学校 開校
平成 4年 11月	学校法人の名称を西鉄学園に変更
平成 6年 3月	私立専修学校専門学校国際ビジネスカレッジ設置認可
平成 6年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジ開校
平成12年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジを専門学校西鉄国際ビジネスカレッジに 名称変更

(3) 設置する学校・学科（令和4年5月1日現在）

学校名	開校年月	学科名	
西鉄自動車学校	昭和37年4月	—	
西鉄自動車整備専門学校	昭和37年4月	工業専門課程 職業実践専門課程 (留学生自動車整備士 コース除く)	自動車整備科 留学生自動車整備士コース
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ	平成 6年4月	商業実務専門課程 職業実践専門課程 (国際ビジネス科・国 際ホテルマネジメント 科・観光ビジネス 進学科・夜間総合観 光科除く)	ホテル・ブライダル科 観光科 鉄道科 エアライン科 国際ビジネス科 国際ホテルマネジメント科 観光ビジネス進学科 夜間総合観光科

(4) 学校・学科の学生数（令和4年5月1日現在）

(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	現員数
西鉄自動車学校	—	—	501
西鉄自動車整備専門学校	自動車整備科	35	66
	留学生自動車整備士コース	35	98
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	ホテル・ブライダル科	50	68
	観光科	0	0
	鉄道科	40	71
	エアライン科	60	82
	国際ビジネス科	30	16
	国際ホテルマネジメント科	25	65
	観光ビジネス進学科	15	0
	夜間総合観光科	20	17
合 計		310	984

(注)1 現員数は1～3学年の合計

(注)2 海外実習生は含まない

(注)3 観光課は2020年に募集停止

(5) 役員概要 (令和4年5月1日現在)

区分	氏名	摘要
理事長	部谷 由二	令和4年4月理事長就任
常務理事	相田 安浩	令和3年4月常務理事就任 (西鉄自動車学校校長)
理事	椎葉小夜子	平成24年6月理事就任 (専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ校長) (西鉄自動車整備専門学校校長)
理事	野口 英明	令和4年4月理事就任
理事	小宮 章敬	令和3年4月理事就任
理事	久保田 等	令和4年4月理事就任
理事	中原 重典	令和4年4月理事就任
監事	馬場 宏明	令和3年4月監事就任
監事	奥村 洋介	令和4年4月監事就任

(注)役員の数員数は理事6名以上8名以内、監事2名

(6) 教職員概要 (令和4年5月1日現在)

(単位：人)

区分		法人本部	西鉄 自動車学校	西鉄 自動車整備 専門学校	専門学校 西鉄国際 ビジネスカレッジ	計
教 員	本務		32	9	16	57
	兼務		5	3	32	40
職 員	本務	4	10	2	9	25
	兼務	2	6	1		9
計		6	53	15	57	131

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学園を取り巻く環境の中で3校ともに業績に大きく影響する要素としては「18歳人口の減少」が挙げられます。文部科学省によれば、平成21年から令和2年頃までほぼ横ばいで推移し、その後再び減少に転じると予測されており、事業環境は今後ますます厳しくなっていくものと考えられます。

さらに、新型コロナウイルス禍における行動様式の変化や進学に対する考え方の変化などを的確に捉え、これに対応した学校経営および事業運営を行っていくことが重要な課題となっております。

(2) 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

<西鉄自動車学校>

西鉄自動車学校においては、18歳人口の減少や若者の車離れにより、収益の主力である普通一種免許の需要が減少傾向になると予想されますが、大型一種をはじめとする他の車種の需要を確実に取込むとともに、高齢者に対する「高齢者講習」や一般企業への「安全運転研修」に積極的に取り組むことで、安定的な収益の確保に努めてまいります。

<西鉄自動車整備専門学校>

西鉄自動車整備専門学校においては、自動車業界との連携を深化させ、最新技術に対応できる整備士の育成に共同で取り組み、教育内容の改善と質の向上に努めています。併せて、留学生の国内での就職を実現させるための日本語能力の向上、国家資格取得並びに就職率100%を目標に取り組んだ結果、目標を達成することができました。今後も業界に貢献できる人材の輩出に尽力し、優秀な学生を確保して学校経営の安定化を図ってまいります。

<専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

西鉄国際ビジネスカレッジにおいては、外部環境の悪化にも動じない学校基盤強化のために学科の改廃を行い新学科の設置を行いました。時代の変化に応じた教育内容の見直しを図り、社会から求められる優秀な人材の育成に努めています。また、高校との連携を深化させるべく高校の授業に参入し、本校の職業教育に対する理解が深まっています。本校教育をさらに広く浸透させ、選ばれる学校づくりを推進してまいります。

資金収支計算書（要約）

令和 3年 4月 1日 から

令和 4年 3月31日 まで

（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	990,803
手数料収入等	72,777
付随事業・収益事業収入	55,168
受取利息・配当金収入	549
雑収入	6,600
前受金等収入	245,522
その他の収入	538,250
資金収入調整勘定	△337,612
前年度繰越支払資金	1,279,138
収入の部合計	2,851,198

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	505,335
経費支出	500,096
施設関係支出	16,851
設備関係支出	39,256
その他の支出	619,529
資金支出調整勘定	△105,312
翌年度繰越支払資金	1,275,441
支出の部合計	2,851,198

事業活動収支計算書（要約）

令和 3年 4月 1日 から

令和 4年 3月31日 まで

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		学生生徒等納付金	990,803
		手数料等	70,856
		付随事業収入	55,168
		雑収入	6,600
		教育活動収入計	1,123,428
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		人件費	515,862
		経費	543,678
		徴収不能額等	1,417
教育活動支出計		1,060,957	
教育活動収支差額		62,470	
教育活動外収支	収入の部	科 目	金 額
		教育活動外収入計	549
	支出の部	科 目	金 額
		教育活動外支出計	—
教育活動外収支差額		549	
経常収支差額		63,019	
特別収支	収入の部	科 目	金 額
		特別収入計	1,921
	支出の部	科 目	金 額
		特別支出計	18
特別収支差額		1,903	
基本金組入前当年度収支差額		64,923	
基本金組入額合計		△37,797	
当年度収支差額		27,126	
前年度繰越収支差額		△444,360	
基本金取崩額		—	
翌年度繰越収支差額		△417,234	

貸借対照表(要約)

令和 4年 3月31日

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	1,373,107
有形固定資産	1,355,123
土地	936,954
建物	323,569
その他	94,599
その他の固定資産	17,983
流動資産	1,321,764
現金預金	1,275,441
未収入金	22,261
その他	24,060
資産の部合計	2,694,871

負債の部	
科 目	金 額
固定負債	109,821
退職給与引当金	109,821
流動負債	395,018
未払金	98,286
前受金	245,522
その他	51,210
負債の部合計	504,840
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	2,607,265
繰越収支差額	△417,234
純資産の部合計	2,190,030
負債及び純資産の部合計	2,694,871

財産目録

令和 4年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
資産額	
基本財産	1,355,123
土地	936,954
建物	323,569
その他	94,599
運用財産	1,339,748
現金預金	1,275,441
未収入金	22,261
その他	42,044
資産額合計	2,694,871
負債額	
固定負債	109,821
退職給与引当金	109,821
流動負債	395,018
未払金	98,286
前受金	245,522
その他	51,210
負債額合計	504,840
正味財産	2,190,030

令和4年5月25日

監査報告書

学校法人西鉄学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 馬場 宏明



監事 奥村 洋介



私たちは、私立学校法第37条第3項および学校法人西鉄学園寄附行為第13条の規定に基づき、学校法人西鉄学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務ならびに財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事馬場宏明は、理事会に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、本部および各学校において必要と思われる調査を実施しました。

監事奥村洋介は、就任前の期間における監査事項につき在任監事等より説明を聴くとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書）および事業報告書に関する説明を受け、かつ必要と認められる方法を実施して、その正確性を検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類等および事業報告書の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況および財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上